

制度活用の事例紹介

活用者インタビュー 品質保証部 服部千晴さん

2021年10月

2018年に加藤精工に入社し4年目の服部さん。服部さんはこれまでに飲食店の店長や「業界、またコンサルタント業界などを経て加藤精工に入社されました。転職をされる際に他社の入社試験も受けていましたが、どうして最終的に加藤精工に入社を決められたのでしょうか？

私には息子がいるので働き方に少し工夫が必要でした。転職活動中に加藤精工について聞くなかで、働きたいイメージと加藤精工の働き方や制度がマッチしていると感じて入社を決めました。もちろん通勤できる立地も私にとっては重要でした。実際に入社すると、社内がとてもアットホームだと感じ、会社がさまざまなケースに柔軟に対応しようとする環境だと感じました。働き始めてから数ヶ月で加藤精工での生活にも慣れてきて、仕事の時間と子供との時間のバランスがとれてきましたし、また「学育制度」という制度を整備してくれたので、活用しています。

学育制度はどのようなシーンで活用していますか？

当時息子はまだ小学生で、通学路の旗振り当番が7時45分からはじまります。旗振り当番が終わってからでは8時の始業時間には到底間に合わない...ですが学育制度を使えば欠勤扱いとならないので、安心して当番を務めることができています。

1 高校までの在学中の子を育てる社員は、学校関連行事のための4時間未満の特別時間を受けることができます。

2 前項の特別時間を申請しようとする社員は、所定の手続きと合わせてあらかじめ内容を証明する書類を提出しなければなりません。

3 前項の時間は、無給とします。

加藤精工の魅力ってなんですか？

人を良く見ていて、困っているところや足りないところを先に察知してくれる風土があります。私生活の面でも、日常の仕事の面でもそれを感じます。入社してすぐの時は、初めての業界、初めての業務ということもあり、業界の常識など知りませんでした。そんな私の質問でも全て丁寧な回答してくれたのは印象的でした。直属の上司だけでなく、会社全体でどんな質問でもしっかりと答えてくれると感じます。それに、上司や先輩は自分の意見を尊重してくれたうえで、アドバイスをくれるので受け止めやすく、アイデアの幅がひろがって次の業務につながっています。おかげで私もそのスタンスを身に付け、後輩の方にも丁寧に対応していきたいと思っています。加藤精工はそれ



服部 千晴さん (入社4年目)

刈谷本社 品質保証部 主任
2018年に加藤精工に入社。入社直後からそのキャリアに加えて明るさと真面目さで品質保証部を支えている。趣味はゲームで息子と一緒にポケモンを楽しんでいる。



「よく聞いてくれてすぐ対応してくれたのが働く安心感につながっています」

ど大きな会社ではありません。社長も役員も部長も、すぐそこにいてので気軽に話ができる雰囲気があるのありがたいです。

やはりコミュニケーションから制度の整備が進むことが多いのですが、何か心がけていることはありますか？

もともとの性格も手伝ってか、明るくはつきり話しています。他に変わり種でいうと、社内でのようなスマホアプリもコミュニケーションを取るのに助かっています。加藤精工は4拠点あるので、普段顔を見ることがない方もたくさんいます。このアプリの機能のひとつでその日の誕生日の方が分かるので、せめて誕生日メッセージだけでもやりとりができること、初めて会う時の緊張感が少し和らいでいると感じます。業務の通知やクイズ、社長のメッセージ

などいろいろな人の情報発信も面白く見えています。

最後に、服部さんからメッセージを・・・

上司や先輩はとても良く見えてくれていますし、聞いてくれます。困っていることが話せるのであれば、どんどん話した方がいいと思います！話しかけたものの勝ちだと思います笑

加藤精工株式会社
1960年4月に設立し、現在63期目を迎えている。愛知県と岐阜県に計4拠点で事業を行い、主に鉄製の自動車部品の製造している。従業員は238名。ものづくりにこだわらる一方で、SDGsやカーボンニュートラル、LGBTQなどジェンダーに関することなど、社会課題への対応を積極的にを行い、社会的責任を果たすことを目指している。

